

ご当地ナンバープレート デザインが決定!!

2月25日から3月14日まで実施した住民投票では、133票の投票があり、ハイビスカスやウミガメ、珊瑚が描かれたデザインが、最も多い44票を獲得し、知名町のご当地ナンバープレートのデザインに決まりました。ご当地ナンバープレートは、今年度中に交付を始めます。詳細は、後日、広報ちなやホームページでお知らせします。

最優秀賞 立志 哲洋さん



■デザインコンセプト

町花「ハイビスカス」や青い空と青い海に浮かぶ沖永良部島を表し、ハートで熱帯魚や白い珊瑚礁を表現。そのハートは、潤いや安らぎのある島で交通安全を願う心も表現しています。

優秀賞 河井 大郎さん



優秀賞 平 文雄さん



NPO法人「沖永良部島食育サポート あぐヘルシー」で 一緒に活動しませんか?

平成21年に設立し、現在16名で活動しています。

あぐヘルシー(大山キヌ子 代表)は、『一家に一人の食医』を大きな目標に掲げ、5つを柱とした活動を行い、食生活改善の大切さを伝えています。

①食育の普及啓発

「食育・地産地消で健康長寿の町づくり」をテーマに、町・農協をはじめ加工業者や飲食店等と協働で、食に関する展示会を開催。

②生活習慣病の予防と改善策

食に対する正しい知識と実践力を身につけるため、健康講座を実施。年間で全7回の講演や料理教室等の講義を実施し、全講座を受講した方を「食育アドバイザー」として認定。

③食育に関する情報提供・講演

保育所や幼稚園、学校等で講演活動や料理教室を実施。

沖永良部島のヤッコ踊りが 県指定文化財に

県文化財保護審議会は、3月20日に「沖永良部島のヤッコ踊り」を県指定無形民俗文化財に指定するように県教育委員会に答申しました。4月下旬に正式に指定される予定です。

ヤッコ踊りは、江戸時代に大隅・都城地方から取り入れた「奴踊り」と琉球の歌詞・曲が融合して始まったとされる踊りで、かつては島内の多くの集落で踊られていました。

3月下旬には、全島での保存・継承に取り組むために、知名町の正名・田皆・瀬利覚集落の保存会・愛好会など4団体と和泊町の6団体が参加し、「沖永良部島ヤッコ踊り保存会」が設立されました。

保存会の初代会長の林富義志さん(正名)は、「これを機に、ヤッコ踊りがますます活発になることを期待しています。」と述べました。



正名ヤッコ



田皆ヤッコ(女性)



瀬利覚ヤッコ



田皆ヤッコ(男性)

④地産地消による健康長寿食メニューの開発

20代から80代までの幅広い年齢層で、沖永良部の旬の食材を使った地産地消料理教室を開催。

⑤食文化の継承

豊富な経験と知識を持つ方のお宅で、郷土食の研修を実施。食の文化祭で作り方や試食を実施。

かごしまの“食”活動表彰で優秀賞を受賞

この表彰は、県が地域における食育・地産地消活動の一層の推進を図る目的で実施しているもので、2月3日に、町長室で伝達式がありました。



問 NPO法人沖永良部島食育サポート
あぐヘルシー (93)5307